

講義名	基礎簿記(2年生以上)			授業形態	
担当教員	島田 奈美	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本講義では、日商簿記検定初級の範囲を基礎として、企業活動を記録・計算・報告する簿記の基本構造を体系的に学修します。簿記の目的と役割を理解したうえで、資産・負債・純資産・収益・費用の五要素、仕訳の方法、帳簿への転記、試算表の作成、商品売買の処理などの期中取引の処理を習得します。
 本講義の目的は、単に計算手続を身につけるだけでなく、各取引が財務諸表にどのような影響を与えるのかを理解し、企業の経営活動を数値で把握する力を養うことです。簿記の基礎的技能を身につけることで、将来の専門的学修や業務に接続する土台を作っていきます。

到達目標

- ・日本商工会議所主催の簿記検定試験初級および3級（一部）の内容について理解できるようになります。
- ・企業の財政状態、経営成績に関する簡単な財務諸表を作成することができ、ディプロマ・ポリシー（5）の基礎能力を身に付けることができます。

提出課題

- ・ほぼ毎回の講義で課題の提出を求めます。
- ・毎回の課題は講義中または講義後の宿題として出す可能性があります。
- ・中間試験を実施します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題を回収後、解答をキャンパスクロスで開示します。
 中間テストについては、間違いの多かった部分について重点的に解説します。点数は採点后、後日公開します。

評価の基準

平常点（毎回の課題）：20点
 中間テスト：30点
 期末テスト：50点

履修にあたっての注意・助言他

本講義は積み上げ型の学習内容ですので、欠席は成績に大きく影響する可能性があります。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

<プリント資料>
 講義中、配布します。

授業計画

- 第1回 会計と簿記の意義
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第2回 貸借対照表
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第3回 損益計算書
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第4回 取引と勘定
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第5回 仕訳と転記
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第6回 試算表の作成
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第7回 期中取引：現金・預金
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第8回 中間テスト
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、出題範囲についての理解に努める。
 復習内容：テストの内容を、これまでの授業資料を基に復習する（120分）
- 第9回 期中取引：商品売買（に付随する取引）
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第10回 期中取引：商品売買（に付随する取引）
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第11回 期中取引：手形・電子記録債権・債務
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第12回 期中取引：その他債権・債務
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第13回 期中取引：固定資産・減価償却
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第14回 期中取引：資本金・収益・費用
 予習内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たらうで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分）
 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）
- 第15回 試算表（月次の集計）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- 卒業認定・学位授与の方針（1）との関係：簿記の初歩的な知識になるため業界の動向や問題点を理解するまでには至らないが、財務的な視点から問題点を理解するために必要な基礎能力が身に付きます。
- 卒業認定・学位授与の方針（5）との関係：企業の財政状態、経営成績に関する簡単な財務諸表を作成することができます。
- 卒業認定・学位授与の方針（6）との関係：財務的な側面から企業が直面する問題や強みを発見するための基礎能力が身に付きます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中にレスポンドで理解度を確認することがあります。

実務経験の有無及び活用

備考